

指定管理医療機器 皮膚赤外線体温計
非接触赤外線体温計 FLIRSTP-300
IOS用アプリ「FLtaion」取扱説明書
Ver.1.00

ダウンロード頂きましてありがとうございました。
この説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

Bluetooth 通信機能付 日本製
非接触赤外線体温計
Non-Contact Infrared Thermometer

体温管理アプリ
FLtaion

おでこでピッ



フィンガルリンク株式会社
Life Science & System's
Finggal Link

FLIRSTP-300
医療機器承認番号
227AGBZX00044000

FLIRSTP-300はBluetooth Ver.4.0のBLE (Bluetooth Low Energy) を通信に用いています。BLEでは【親機】のことをCentral (セントラル), 【子機】のことをPeripheral (ペリフェラル) と呼びます。この場合、親機はiPhoneやiPadなどになり、子機はBLE機能がついた本体温計になります。BLEでは親機からの接続待ちの仕組みをアドバタイズと呼びます。

アドバタイズは、子機である体温計が「僕はここにいるよ」ということを伝えるための無線信号です。子機は接続待ちの間、定期的にアドバタイズを発信しています。体温計と親機の間で通信が確立するとペアリングが完了したことになります。

ここでは、iPhoneやiPadを用いた使い方について説明します。
使用機器

- Bluetooth 搭載 非接触赤外線体温計 FLIRSTP-300
- Apple製 iPhone または iPad (以下IOS 端末とします)

1. 体温計アプリのダウンロード

FLIRSTP-300 体温計用のアプリ FLtaion は、以下の URL または 2次元バーコードを読み込んで AppStore からダウンロードしてインストールしてください。

2. アプリケーションの使い方

ダウンロードした「FLtaion」をクリックします。すると Fig.1 のような起動画面が数秒間表示された後に、Fig.2 のカレンダー画面が表示されます。

ここで画面右下の ⊕ ボタンをクリックします。すると、Fig.3 の画面に変わります。

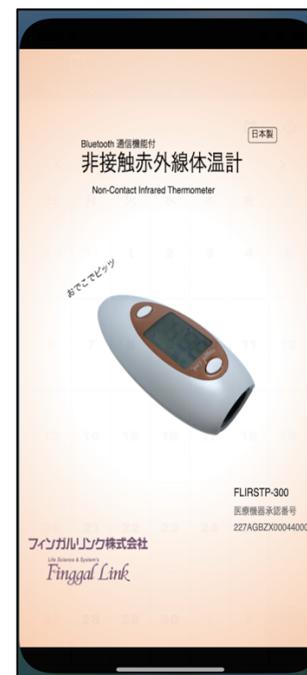


Fig.1 起動画面



Fig.2 カレンダー画面

2.1 体温の手動入力

まだ FLIRSTP-300 体温計をお持ちでない場合はテスト用としてもご利用いただけます。体温計の測定ボタンを押す度に体温が表示されますから、その値を読み取って 入力します。

Fig.3 において、「体温」の窓をクリックします。すると、Fig.4 のように画面下に体温入力窓が表示されますので、体温を選択します。入力が終わったら「完了」を押します。メモやコメント入力は、「メモ」の窓をクリックします。ここで、「寒気がして、少し咳が出る」とか、「頭が痛い」とか、任意のコメントを入力することができます (Fig.5)。入力を終わったら「完了」ボタンを押し、Fig.3画面に戻ったら「保存」ボタンを押します。次に「体温を保存してよろしいですか?」と聞いてくるので「OK」を押します (Fig.6)。



Fig.3 手動入力



Fig.4 体温入力



Fig.5 メモ・コメント入力



Fig.6 保存画面

2.2 体温の自動入力 (Bluetooth 通信による入力)

FLIRSTP-300 体温計の測定値を Bluetooth 通信によって入力します。

Fig.3 右下の Bluetooth ボタンを押してください。すると画面が Fig.7 のように変わり、Bluetooth がオンになり、ペアリングというボタンが出てきます。1 台の IOS 端末には 1 台の体温計が接続できます。ここで Fig.7 の「ペアリング」ボタンを押します。体温計とペアリングできるまで、Fig.8 の画面が表示されます。

体温計に向かって右側にある「接続ボタン」を押すと、アンテナマークが点滅します (Fig.9)。ペアリングが完了すると、アンテナマークは点滅から点灯に変わり、アプリの画面のペアリングボタンは薄く表示されます (Fig.10)。これで接続は完了です。



Fig.7 Bluetooth 接続



Fig.8 接続中



Fig.9 体温計接続ボタン (右) とアンテナマーク



Fig.10 接続完了

ここで体温計を額に向け、測定ボタンを押す都度、体温が測定され、その結果が画面に表示されます。体温は何度でも測定しなおすことができ、その都度、体温が表示されます (Fig.11)。



FIG.11 体温測定

必要があれば、メモ欄にコメントを書き込みます。必要なければ何も書く必要はありません。ここでは「午後の体温」と入力しました。

入力が完了したら、保存ボタンを押します。画面下には「保存しました」と表示されます (Fig.12)。これで体温とコメントが保存されました。



Fig.12 保存完了

以上、完了しましたら、Fig.10 画面左上のXをクリックしてください。画面が Fig.2 のカレンダー画面に戻り、体温計のアンテナマークは、点灯から点滅に変わり、そのまま何も操作しないと30秒後に体温計の電源は自動的に切れます。

3. 一覧表の表示

Fig.13 はカレンダー画面です。測定値が記録されている日にちの部分に赤い点がついています。当日の部分黄色くなっています。上部の「一覧」をクリックすると、デフォルトでは当日を含む2日間の測定結果がコメントと共に表示されます (Fig.14)。Fig.12 左上の年/月/日 の部分または右側のv をクリックすると、Fig.15 のオプション画面になります。



Fig.13 カレンダー画面



Fig.14 一覧表示



Fig.15 一覧表示オプション

- ・「高温のみ」をオンにすると、37.5℃以上の結果が表示されます。37.5℃以上の結果がない場合はデータがありませんと表示されます。(Fig.16)
- ・「メモ無し省略」をオンにすると、コメントの無いところの行を詰めて表示します。

📅 を押すとカレンダーが表示され、当日の部分○で囲まれています。ここから任意の日を選び「完了」を押すと指定の日にちに変更できます。

🔄 を押すと当日に戻ります。

表示期間は Fig.17 の画面で1日間～31日間の間で変更できます。



Fig.16 高温のみ表示



Fig.17 表示期間の変更

4. 特定の記録の削除 (一度削除したデータは復元できません)

何らかの原因でデータが重複したり、グラフが重なってしまったりして、特定のデータを消去したいときは、一覧表示 (Fig.18) から該当する記録の部分を選択すると Fig.19 の消去画面が出て「削除」を押すと消去されます (Fig.20)。



Fig.18 一覧表示から選択



Fig.19 消去画面



Fig.20 消去完了

5. グラフ表示

カレンダー画面 (Fig.13) または一覧画面 (Fig.14) において、上部の「グラフ」をクリックすると、今までの測定結果がグラフで表示されます (Fig.22)。デフォルトでは当日を含む2日間の測定結果がグラフに表示されます。

表示期間は1日間～31日間の間で変更できます。

 を押すとカレンダーが表示され、当日の部分が○で囲まれています。ここから任意の日を選び「完了」を押すと指定の日に変更できます。

 を押すと当日に戻ります。

グラフ表示において、表示期間を3日以上にすると、1日の測定値は縦1列に表示されます。(Fig.23)

詳細にグラフを見たいときは、表示期間を1～2日に設定してください (Fig.22)。



Fig.21 一覧表示

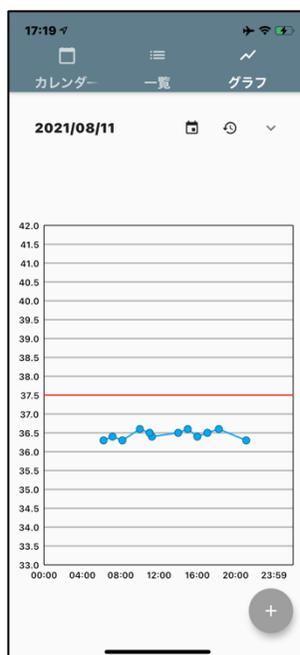


Fig.22 グラフ表示

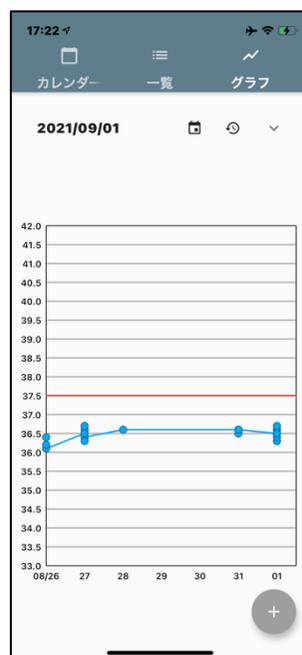


Fig.23 1週間表示

総販売元： **フィンガルリンク株式会社**

住 所： 〒111-0041
東京都台東区元浅草2-6-6
東京日産台東ビル5F
TEL： 03-6802-7145 (代表)
FAX： 03-6802-7156

受付時間： 月～金 AM9:00～12:00 PM1:00～6:00
(祝日, 弊社休業日を除く)

Mail : info@finggal-link.com
Web : www.finggal-link.com